

北海道読書推進運動協議会

北読進協だより

第12号



図書館クイズ大会（新得町）

「魔法の国へのパスポート」

2006 こどもの読書週間 道内図書館等事業速報

平成18年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体（者）
文部科学大臣表彰決定

「魔法の国へのパスポート」

2006こどもの読書週間 道内図書館等事業速報

今回で48回目を迎える長い歴史を誇る「こどもの読書週間」ですが、2000年には、子どもの読書の推進に関する法律の制定により4月23日が子ども読書の日と定められ、また、国際的な児童図書交流組織であるJBBY（社団法人日本国際児童図書評議会）においてもハンス・クリスチャン・アンデルセンの誕生日にちなんで制定した「国際子どもの本の日」（1967年以降4月2日）が定められているなど、近年は、清々しいこの季節にふさわしい子どもと子どもの読書に関連する行事がこの4月から5月にかけて、数多く行われるようになりました。

北海道でも図書館をはじめとする数多くの読書施設などで読書週間やその前後の期間に合わせた行事が行われてきています。

当会においても、全国各都道府県で活躍する読書推進運動団体の北海道地区の幹事・事務局として定期刊行物「読書推進運動」の配布をはじめ、秋に実施している優良読書グループの表彰などの事業において道内における子どもの読書活動の振興を図ってきているところです。

図書館等で行われた子どもの読書週間に関わる各地の行事については、毎年東京の社団法人読書推進運動協議会が取りまとめ、発表していますが、北海道地区については、当会事務局において現在集計作業を進め、全国集計への報告をまとめているところです。

今号の北読進協だよりでは、地域で活躍している図書館や各地の読書グループの活動について、特に目を引いた活動例をいくつか紹介していくこととします。



18 年度集計結果

今回は、道内 180 市町村の読書施設（図書館、公民館図書室等）を対象に、調査票によるとアンケート調査を行い、6 月 1 日現在で 160 市町村の回答がありました。

子どもの読書週間に合わせて行事を行った自治体は 100 市町村があり、総事業数は 259 件の読書関連行事が全道で行われました。

事業の内容別に見ると、お話会が全体の約半数の 120 件を占めます。続いて工作会のようなイベント、しかけ絵本や布絵本のような普段あまりお目にかかることのない図書館資料を展示する資料展示会が続きます。

アンケートでは、調査票の集計とともに行事で使用したポスター、チラシなどの PR 配布物についても送付を依頼したので、色とりどりの楽しいチラシが多数集まりました。

それぞれの行事について、ユニークな事業をピックアップしてご紹介します。



大空町のかんたん工作ひろば「ミニミニこいのぼり作り」

< 集計速報 >

実施あり 100 市町村 実施なし 60 町村 未回答 20 市町村

総事業数 259 件

内訳：お話会 120 市町村，映画会 23 市町村，一日司書 12 市町村，展示 67 市町村，ブックリストの作成と配布 6 市町村，イベント 76 市町村，その他 32 市町村

（事務局）

定着してきた？ 図書館体験隊 各地で図書館ツアーが開かれました。

あこがれの図書館のお兄さん、お姉さん？を体験できる 1 日司書体験を行った市町村が 12 ありました。

江別市情報図書館では、図書館職員とお揃いのエプロンを身に着けたかわいい一日司書が、普段は入ることの出来ない書庫を職員に案内してもらったり、カウンターに出て実際に貸出し体験を行うなど、半分緊張しながらも楽しそうに行っていました。

カーテンシアターとは

大型絵本や紙芝居はよく目にしますが、北見市留辺蕊の読み聞かせグループ「あのね」ではカーテンを使ったユニークなお話会を行いました。

カーテンシアターは、グループのメンバーが、長さ 6 メートルに及ぶカーテン生地に子どもたちに人気の「ぐりとぐら」のお話を描き、フィルムのように横方向に送り出しと巻き取りを行いながら物語を展開するものです。

子どもたちは、カーテンの次の場面を楽しみにしながら食い入るように見つめていました。

このほかにも北見市では、世界でただひとつ、自分だけの手作り絵本づくり教室を行って子どもたちにも好評でした。

今年もやりました！おはなしマラソン2006

市立釧路図書館では、昨年に続いて今年も「おはなしマラソン」を行いました。

今年の「おはなしマラソン」は、5 時間連続 17 名の読み手がかわるがわる登場するというもので、今年にはさらに、お話だけでなく、手品あり、ハーブ演奏ありとバラエティ豊かな楽しいマラソンになりました。



(地元放送局も取材に訪れた市立釧路図書館の「おはなしマラソン」)

文部省の集計結果が公表されました

子どもの読書推進活動計画の策定状況が発表されました。北海道内では 21 の市町村が既に策定しています。各市町村名は次のとおり

都道府県名	合計数	策定済市町村名
北海道	21	千歳市、恵庭市、石狩市、札幌市、美唄市、旭川市、留萌市、網走市、室蘭市、苫小牧市、帯広市、白老町、芽室町、幕別町、今金町、利尻町、大空町、美幌町、標津町、真狩村、更別村

子どもの読書活動優秀実践図書館・団体（者）文部科学大臣賞 決 定

平成 13 年度の「子ども読書活動推進法」の制定を受けて、平成 14 年度から国民の間に広く子どもの読書活動について、理解と関心を深めるとともに、子どもの読書活動に優れた実践を行っている図書館・団体（個人）を表彰しているものです。

今年度は、次の 2 図書館、2 団体が決定し、4 月 23 日、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「子どもの読書活動推進フォーラム」で表彰を受けました。

図 書 館

江別市情報図書館

平成元年度の開館以来、図書館として常に質の高いサービスを続けています。道内でもいち早く小中学校とのオンラインを実現したほか、総合的な学習の時間の小中学校の利用や学校図書館への司書の派遣等学校との連携にも力を入れています。

また、館長以下職員全員による週 3 回を超える読み聞かせや科学教室の開催等様々な形で学校や図書館を通じて子どもの読書の推進を図っています。

湧別町図書館

公民館図書室の時代に、移動図書館車の巡回貸出により始まった子どもの読書活動は、着実に広がって貸出に占める児童書の割合は 50% を超えており、図書館は子どもたちが本を介して日常利用する施設として根付いています。

また、ボランティアとの協働により、学校や母親教室、町内のイベントへの出前読み聞かせや手づくり絵本の製作等を行っており、地域の子どもの読書活動に積極的にかかわっています。

団 体

石狩文庫連絡会

1978 年に 5 つの文庫が統合して発足し、それまでの文庫活動のほかに、図書館や小学校、病院、児童館などでおはなし会を行う「おはなし出前活動」や、読み手・語り手の輪を広げるために「トレーニング講座」を行っています。その他図書館まつりへの協力などをあわせると年間 100 回以上という積極的な活動を行っています。現在会員は 19 名。

平成 14 年度優良読書グループ全国表彰を受賞。

おはなしぼけっと（登別市）

おはなしを通じて子どもたちに読書の喜びを伝えようと 1982 年に発足、月 1 回図書館で、さらに公民館などでおはなし会を開催しています。さらに総合的な学習

の時間を通じて中高生の読み聞かせボランティアの育成指導や読み聞かせ研修会等で実践発表や胆振管内教員研修における講師等読み手のすそ野を広げ、子どもの読書活動の担い手の育成にも力を入れています。

平成 14 年度優良読書グループ北海道表彰を受賞

これまで受賞した図書館・団体（個人）

	種別	受賞者	管内
平成 14 年度	図書館	浦河町立図書館 ふきのとう子ども文庫（札幌市）	日高 石狩
	団体（者）	鉄子文庫（室蘭市） 對馬やす子（七飯町）	胆振 渡島
平成 15 年度	図書館	根室市図書館 恵庭市立図書館	根室 石狩
	団体（者）	本のひろば（余市町） 旭川文庫・読書会連絡会	後志 上川
平成 16 年度	図書館	市立留萌図書館 栗沢町来夢 2 1 図書館	留萌 空知
	団体（者）	読み聞かせの会「ぐりとぐら」（倶知安町） おはなしきかんしゃ（小清水町）	後志 網走
平成 17 年度	図書館	幕別町図書館 標茶町図書館	十勝 釧路
	団体（者）	絵本を楽しむ会「おうまのおやこ」 （東神楽町） 読み聞かせの会「おはなしつくしんぼ」 （静内町）	上川 日高

北読進協だより 第12号

発行年月日 平成18年6月1日

編集・発行 北海道読書推進運動協議会事務局

〒069-0834 江別市文京台東町4-1番地

北海道立図書館業務部市町村支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906
